

●調査レポート

第73回 埼玉県内企業経営動向調査－2010年10～12月期－

調査対象：県内企業572社

調査方法：アンケート方式（11月上旬 郵送回収）

回答企業：286社（回答率50.0%）

業種別内訳：製造業173社 非製造業113社

調査分析方法 BSI方式 各設間に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

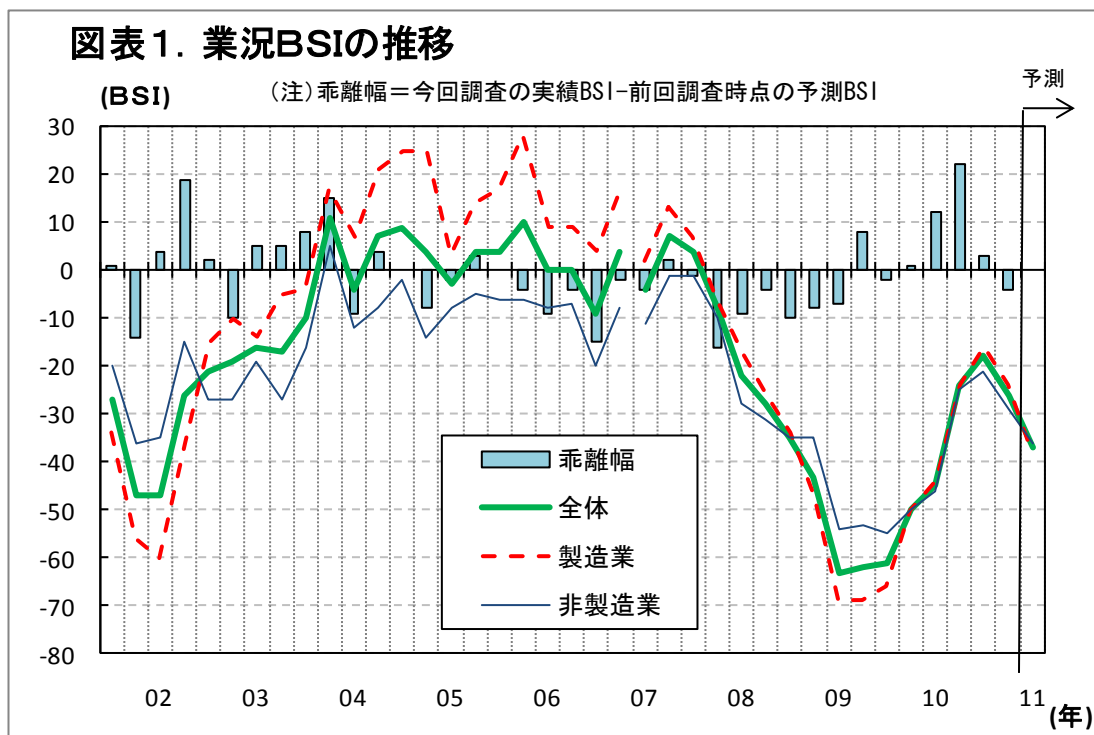
<概況>

県内企業の業況感は足元で後退している。今回調査(10～12月期)の業況判断BSIは-26と、前回(7～9月期)に比べ8ポイント低下、09年1～3月期以来7四半期ぶりに後退した。

今回調査の特徴を規模別にみると、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)が「規模の小さい企業」(従業員100人未満)に比べ下げ幅が幾分か大きくなっている。特に製造業では輸出比率の高い「規模の大きい企業」は前回のプラス1から今回は-12と再びマイナスに転じている。

業種別にみると、製造業は、販売が堅調な医薬品を主体とする化学で業況感の改善がみられるものの、エコカー補助金の終了、円高、海外需要の鈍化を受けた販売数量の鈍化などから精密機械、輸送用機械、電気・情報通信機械、一般機械などの加工組立型を中心に業況感が後退している。非製造業は、低金利が続くなかで住宅取得支援策の効果もあって住宅建設の業況感が改善しているが、小売業では夏場に猛暑効果等で伸びた飲・食料品や衣料品の業況感が後退したほか、エコカー補助金の効果剥落による反動減から自動車販売業者の業況感が悪化している。

先行き(11年1～3月期)の業況判断BSIは-37と、総じて後退が続く見通しとなっている。業種別にみると、製造業では電子部品・デバイスは好調を維持するとみている反面、その他では政策効果の息切れや円高の影響継続などから慎重な見方をする先が多い。一方、非製造業では小売が売り上げ回復を見込んでいるものの、一般建設、不動産などでは業況悪化を懸念している。



(注)2007年1～3月期調査から調査対象企業の見直しを行ったことから、2006年10～12月期以前と2007年1～3月期以降の数値は連続しない。

1. 業況判断BSI（「良い」－「悪い」） ～7 四半期ぶりに低下～

今回調査の業況判断BSIは09年1～3月期以来7四半期ぶりに低下した。県内企業の業況感はこれまで持ち直しを続けてきたが、足元では後退している。

製造業では、規模の大きい企業のマイナス幅が相対的に大きく、特に加工組立型の精密機械、輸送用機械、電気・情報通信機械、一般機械などで業況感が大幅に低下している。非製造業では、住宅建設、運輸・倉庫で業況感が改善しているものの、小売、不動産など多くの業種で業況悪化が目立っている。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2009年			2010年					2011年 1～3月 (見通し)
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	前回予想	
全体	-62	-61	-50	-45	-24	-18	-26	-22	-37
100人未満	-64	-63	-54	-52	-28	-32	-37	-33	-42
100人以上	-59	-58	-46	-37	-19	-3	-13	-10	-32
製造業	-69	-66	-51	-44	-24	-16	-24	-19	-38
100人未満	-69	-71	-51	-49	-24	-30	-34	-29	-40
100人以上	-69	-60	-50	-38	-23	1	-12	-7	-37
素材型	-70	-63	-39	-35	-21	-28	-21	-24	-40
パルプ・紙・紙加工品	-70	-58	-20	-44	-9	-29	-38	0	-38
化学・石油製品・ プラスチック・ゴム製品	-36	-42	-19	-40	-27	-23	0	0	-25
鉄鋼・非鉄金属	-82	-91	-85	-45	-25	-15	-25	-38	-42
金属製品	-90	-44	-17	0	14	-18	-7	-18	-43
その他素材型	-81	-82	-53	-54	-53	-44	-29	-53	-48
加工組立型	-88	-78	-63	-55	-22	-2	-24	-16	-35
一般機械器具	-88	-71	-62	-72	-53	-21	-31	-29	-50
電気・情報通信機械器具	-93	-63	-50	-60	-23	-8	-33	-17	-33
電子部品・デバイス	-92	-100	-86	-67	-11	10	8	10	8
輸送用機械	-90	-91	-55	-31	8	0	-36	-31	-55
精密機械	-73	-82	-73	-29	-18	14	-25	-7	-42
生活関連型	-38	-53	-53	-46	-39	-23	-32	-13	-48
飲・食料品	-17	-43	-25	-33	-23	8	-14	15	-43
印刷・同関連業	-58	-80	-100	-67	-60	-67	-55	-50	-55
その他製造業	14	0	-33	-13	-14	0	-14	-14	-14
非製造業	-53	-55	-50	-46	-25	-21	-29	-26	-36
100人未満	-58	-53	-58	-57	-33	-34	-41	-37	-46
100人以上	-47	-57	-39	-34	-15	-8	-15	-15	-25
一般建設	-76	-71	-55	-68	-52	-52	-64	-54	-73
住宅建設	-29	0	-25	9	18	9	36	-9	9
卸 売	-47	-55	-69	-47	-42	-25	-39	-10	-41
小 売	-52	-74	-65	-45	-19	0	-44	-27	-33
運輸・倉庫	-59	-57	-38	-53	-13	-25	0	-19	-18
不動産	-58	-44	-33	-38	-20	0	-33	-25	-42
その他非製造業	-44	-53	-41	-45	-17	-27	-17	-23	-22

2010年10～12月期から素材型の「繊維・衣服・その他の繊維」、「木材・木製品・家具」、「窯業・土石」を統合し、「その他素材型」とした。また、「建設」の業種名については、「住宅建設」と明確に区別するため、「一般建設」に変更した。

2. 売上（生産）高BSI（「増加」－「減少」） ～規模の大きい企業を中心に低下～

製造業では、エコカー補助金の終了、円高、海外需要の鈍化を受けた加工組立型が前回調査48→今回調査0(以下同じ)と大幅に低下している。非製造業では、低金利に加え住宅取得支援策もあって住宅建設が0→27とプラスに転じる一方、小売が猛暑により夏場に大きく伸びた飲・食料品や衣料品の売上げの減少のほか、エコカー補助金の政策効果剥落による自動車販売の反動減が目立ち、全体としても小幅マイナスに転じている(小売61→▲6)。

図表3 売上(生産)高BSI

	10年4～6月期	10年7～9月期	10～12月期	11年1～3月期 (見通し)
全体	-6	14	4	-20
製造業	3	20	6	-26
非製造業	-18	8	2	-13
規模の小さい企業	-17	5	-2	-17
規模の大きい企業	7	24	11	-25

3. 経常利益BSI（「増加」－「減少」） ～業種、規模の如何を問わず低下～

売上（生産）高が鈍化したことから、製造業では加工組立型が33→▲8、非製造業では小売が61→▲11と前回の大幅プラスからマイナスとなっている。

先行きについては、輸送用機械のマイナス幅が縮小するほか、住宅建設、小売では改善を見込んでいるが、それ以外の業種では収益悪化を予想。

図表4 経常利益BSI

	10年4～6月期	10年7～9月期	10～12月期	11年1～3月期 (見通し)
全体	-14	6	-4	-23
製造業	-9	9	-1	-23
非製造業	-21	2	-8	-22
規模の小さい企業	-23	-2	-9	-17
規模の大きい企業	-4	14	2	-28

4. 海外需要BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型で大きく低下～

製造業では、加工組立型の電気・情報通信機械が40→▲7、一般機械が43→0と輸出関連で後退が目立っている。ただし、先行きについては全体の売上げ減少見通しに比べ小幅のマイナスにとどまっている。

図表5 海外需要BSI

	10年4～6月期	10年7～9月期	10～12月期	11年1～3月期 (見通し)
全体	9	15	2	-5
製造業	12	20	2	-4
非製造業	2	2	0	-7
規模の小さい企業	11	13	-7	-5
規模の大きい企業	8	16	11	-5

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰感が幾分拡大～

製造業で過剰感が幾分強まっている一方、非製造業では不足超に転じており、業種間で格差がみられている。

図表6 生産(販売)設備 BSI

	10年4～6月期	10年7～9月期	10～12月期	11年1～3月期 (見通し)
全体	9	6	7	7
製造業	16	6	13	14
非製造業	0	6	-2	-3
規模の小さい企業	7	5	5	5
規模の大きい企業	12	8	10	10

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業は不足感が幾分拡大～

製造業は過剰感が僅かに強まっているが、非製造業では不足感が拡大するなど、こちらもマチマチな動きとなっている。

図表7 雇用人員 BSI

	10年4～6月期	10年7～9月期	10～12月期	11年1～3月期 (見通し)
全体	14	2	0	7
製造業	19	6	8	16
非製造業	6	-3	-11	-7
規模の小さい企業	13	3	1	5
規模の大きい企業	14	1	-1	9

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～「苦しい」超に転化～

規模の小さい企業を中心に若干資金繰りが厳しくなっている。

図表8 資金繰り BSI

	10年4～6月期	10年7～9月期	10～12月期	11年1～3月期 (見通し)
全体	-4	4	-4	-13
製造業	-1	9	-1	-11
非製造業	-7	-2	-9	-16
規模の小さい企業	-9	1	-12	-22
規模の大きい企業	2	9	5	-3

(以上)